

# 「チーム新・湯治」コンテンツモデル調査 審査結果

「チーム 新・湯治」は、温泉地を中心とした自治体、団体、企業等による多様なネットワークづくりを目指した取組です。本ネットワークを通じて、温泉地において多種多様な連携が生まれ、これまでになかった新しい取組が展開されることが期待されています。

「チーム新・湯治」コンテンツモデル調査は、環境省が実施する「平成 31 年度「チーム 新・湯治」運営等実施業務」の一環として、今後、チーム内での取組として期待されるコンテンツについて、モデル調査として実施し、その効果及び有用性の発信を行います。

この度、チーム員から 6 件の応募があり、学識経験者の意見も踏まえて、環境省温泉地保護利用推進室及び公益財団法人日本交通公社（「チーム新・湯治」運営事務局）で、厳正な審査を行いました。その結果、以下の 3 件を採択しました。

## 【採択提案の概要】

申請者	新温泉町	鳴子ワカモノ湯治	(株)ベーシック
テーマ	温泉地× 温熱×リラックス	温泉地× 身近なマイノリティ	温泉地× Business Woman & オープンイノベーション
実証 温泉地	湯村温泉 (兵庫県新温泉町)	東鳴子温泉 (宮城県大崎市)	伊豆修善寺温泉 (静岡県伊豆市)
プログ ラム 概要	「身体を温める」をコンセプトに、高温で豊富な温泉と川沿い空間を活用した体験プログラムを開発して都市住民へ提供、その効果を把握する。	温泉入浴に“入りづらさ”を感じるマイノリティ（LGBT、乳がん手術経験者等）の方に、「湯治ウィーク」期間中に東鳴子温泉で湯治を楽しんでもらい、アンケートを実施する。	公募により様々な企業の業種・部門の Business Woman が集い、温泉や自然を楽しみ、思考の枠組みを外すオープンイノベーションミーティングの実証を行う。